

日本人の世界魂

松原 致遠

明治維新は、新國を建設するた
に海外雄飛の志を込められた。こ
も、元來日本人は世界に雄飛する
まじき志を有つてゐる。アングロ
ソンの同じく、もくろみ海上生活
をしてゐたもの、子孫であるから、機
會をさへ得らるれば、何としてでも
世界を狭しとして躍り出す勇氣は持
ちあはせてゐる。

日本人の世界的雄飛の例證とし
て、多く山田長政や矢倉六左衛門や
伊達政宗や、はては倭寇などの事跡
を持ち出すけれども、眞如法親王の
例を知るものは少い。

眞如法親王の偉さは、これらの
ものゝ日本人の例を遠く超越し
てゐる。日本的でないといふ言ふ
べきであらうが、あれが元來日本人に
内含された素質の、たまたま代表
的に現れたものであらう。

眞如法親王は平城天皇の第三の
皇子にまじりましたのである。大同
四年には皇太子の御位にお就きにな
つた。無論太極に登らせらるべきお
であつたが、大同の五年に藤原仲成
の事に坐して廢せられた。當時の
時に於ける藤原氏の同族間の争ひの
爲めに犠牲となされたのであらう。

眞如法親王は、すぐ法門
に入られた。しかし親王の入法は、
他の金枝玉葉のおかたが、老後
の享樂として佛にちりをせらるゝの
とは頗る違ひに、眞如になつて
一大事の徹底に奮進せられた。

眞如の徹底は、俗世間の出世
や金もけのやうに容易ではない。
まづ當時の三論宗の高僧道詮に學び
た。當時眞言の教は支那は勿論日
本の教界をも風靡してゐたが、わ
が眞如法親王は、この密大乘の奥秘
を極むるには、到底日本ではいけな
いとの思召で、貞觀四年に唐に渡
られた。

唐に行かれたのが五十四歳でま
じりました。五十四になつて、學問を
するために、當時の帆船に乗つて

雲上の連枝が入唐せらるゝといふ
けでも、大したことである。今日の
蒸汽船でケーブを通つて南米へ來る
のとは雲泥のちがひがある。

眞如王は、唐へ御進發と聞い
て、各大寺の高僧たちを、皆弟子を
引きつれてお見送り來たが、親王
は頗る謙遜で、ことごとく迎候をこ
そはり、數人の法弟をのみ連れ、肥
前松浦から出帆せられた。

この時の、イヤ當時はいつでも
そうであつたらうが、航海は可なり
難儀であつたらしい。恐ろしい風浪
に逢ふて、船のものが生きたる色もな
かつたが、親王一人、神色動かなかつ
た。眞如王は記して居る。

眞如王は記して居る。
唐土に上つてからは、遠近を問
はず法を求めて歩かれた。當時洛陽
にあつた日本留學生の圓戒法師とい
ふのが、親王の入唐のことを唐の皇
帝に奏したもので、皇帝の招きを受
け、求法の便を得られた。

眞如王は記して居る。
唐土に上つてからは、遠近を問
はず法を求めて歩かれた。當時洛陽
にあつた日本留學生の圓戒法師とい
ふのが、親王の入唐のことを唐の皇
帝に奏したもので、皇帝の招きを受
け、求法の便を得られた。

眞如王は記して居る。
唐土に上つてからは、遠近を問
はず法を求めて歩かれた。當時洛陽
にあつた日本留學生の圓戒法師とい
ふのが、親王の入唐のことを唐の皇
帝に奏したもので、皇帝の招きを受
け、求法の便を得られた。

眞如王は記して居る。
唐土に上つてからは、遠近を問
はず法を求めて歩かれた。當時洛陽
にあつた日本留學生の圓戒法師とい
ふのが、親王の入唐のことを唐の皇
帝に奏したもので、皇帝の招きを受
け、求法の便を得られた。

眞如王は記して居る。
唐土に上つてからは、遠近を問
はず法を求めて歩かれた。當時洛陽
にあつた日本留學生の圓戒法師とい
ふのが、親王の入唐のことを唐の皇
帝に奏したもので、皇帝の招きを受
け、求法の便を得られた。

者の深く考慮すべき問題となつた。
實に東洋の需要能力は莫大にして伯
國産綿、珈琲、砂糖、木材等は最も
よく販路を得られるであらう。伯國
産品の好果を挙げ得べき國中に日本
がある、該國と伯國との通商關係は
全く微々たるものである、例へば珈
琲の如き充分な需要があるに違ひな
い、此取引開發法として神戸駐在伯
國領事の最近報告に、迅速に實効を
收め得べき案を提出してゐる、同領
事の意見では輸入業者の何れに對し
ても何等特權を附與せずして自由競
争をせしむべく、充分な保證をした
時單に支拂方法及價額に付幾分の利

八月十三日に發表された
政務次官及參事官
任大藏省政務次官 早速 整爾
任内務省政務次官 三木 武吉
任農商務省政務次官 片岡 直温
任陸軍省政務次官 中村 直温
任海軍省政務次官 永井 柳太郎
任文部省政務次官 三土 忠造
任司法省政務次官 熊谷 直太
任逓信省政務次官 岩崎 次郎
任陸軍省政務次官 植原 悦太郎
任海軍省政務次官 關 和知
任文部省政務次官 秦 克
任司法省政務次官 鈴木 大蔵
任逓信省政務次官 河上 哲太郎
任陸軍省政務次官 古屋 隆一
任海軍省政務次官 古屋 隆一

伯國珈琲と日本
伯國生產品の爲に東洋市場を開拓す
る事は目下伯國の經濟學者及輸出業
者より

伯國珈琲と日本
伯國生產品の爲に東洋市場を開拓す
る事は目下伯國の經濟學者及輸出業
者より

伯國珈琲と日本
伯國生產品の爲に東洋市場を開拓す
る事は目下伯國の經濟學者及輸出業
者より

伯國珈琲と日本
伯國生產品の爲に東洋市場を開拓す
る事は目下伯國の經濟學者及輸出業
者より

伯國珈琲と日本
伯國生產品の爲に東洋市場を開拓す
る事は目下伯國の經濟學者及輸出業
者より

伯國珈琲と日本
伯國生產品の爲に東洋市場を開拓す
る事は目下伯國の經濟學者及輸出業
者より

移轉廣告

謹啓向署の砌各位益々御清祥奉
大賀候陳ば弊館特別の御引立を
蒙り日に月に繁昌致候に就ては
從來の場所にて狹隘を告げ居候
處適ま理想的の家屋見當り候を

HOTEL
Hiroshimaya
Rua Conselheiro Furtado, 16
S. PAULO

廣島屋旅館

館主

小川源右衛門

機會に聖市コシセレイロフルタ
ード街日本人街見付十六番へ移
轉仕り室内整頓食事改良且つ御
取扱を懇切にして平素の御厚意
に報ゆる事に致候間何卒倍舊の
御最負御引立の程伏して奉御願
候 敬白

Dr. M. SAÇADA
MEDICO E OPERADOR

Caixa Postal, 124
Est. Lins Linha Noroeste

醫院開業
伯國リオ醫科
大學醫學士
笹田正數
ノロエステ線リンス驛
郵函 一二四

御旅館

松山三太郎
電話シダグセ七三六番
聖市カンタレーラ街九拾番(カンタレーラ驛前驛り
電車はルンス驛前通過五三番(ルンス驛より七分間達する所)

矢部洋服店

最新式米國型洋服 町噺迅速廉價調製
聖市 電話 一三〇一 一三〇二 一三〇三 一三〇四
セントラル 一三〇五 一三〇六 一三〇七 一三〇八

智利硝石

日本人諸君! 智利硝石を使はなければ實効ある施肥は出來るものでない
云ふ事を忘れてはいけません
智利硝石は最も強力な窒素供給肥料で同時に市中に販賣してゐる諸肥料
や土地に融合し難い加里や燐酸の最良の溶解劑であります
詳細の説明又は本社の東京代理店に印刷した説明書希望の方は左記宛御
申越し次第喜んで回答と共に説明書を送り致します

Dr. G. Medina

代理人
Rua Benjamin Constant, 1 Sala. 27
Caixa Postal, 2873 S. Paulo

FUJISAKI & COMP.

種各品本日

藤崎商會

東京本店 四谷區臨町一ノ廿九
支店 店リオ、デ、ジャネイロ
支店 ベルナンブーコ
サン、パウロ 支店
Rua S. Bento No. 68-A
Tel. Cent. 2788 - Caixa. 344
S. PAULO

セバクーラセザール

松本高信

『ホントに仕方のない女だ男と逢引ばかりしてゐやがつて』
『養母さんもおばさんだ、他から預かつた娘の監督もしないであんな白

けて大道へ出てチツと耳をすましてゐたが今度はゴンゴンと綿の木をわけながら上の方へのぼつて行つて雨宿り小屋から少し離れた所で、蹠ん

輕く鼻をうつ私は結婚式の時聖壇の
前に並んだ白衣のノイバの黒髪に白
いグリナルダに氣をさられてゐた時
の事を思ひ出した(トルストイ)

九月生れの人

このつき
此月に生れた人は

位置

ノロエステ線プロミツソン驛カルモン驛

▲**價 格** 驛にて昨今非常なる發展をなしつゝある新市街地カビツパ町
一ロツツに付金百銚以上五百銚迄

▲**地 格** カビツパ町市街地ツマきにて邦人殖民地バラマンサ
街道及本月間通する土家殖民地新街道の中間

▲**地 質** クルツツ土地帯にて珈琲其他萬種物に好適、將來カ
ビツパ町發展と共に市街地として著却できる又と得たなき場

所 格 一アルケールに付金二コントス（一時拂、三ヶ年賦拂隨意）

右は小地區に候へば賣切れざる内一日も早く申込まれ度、其理想的殖民地に目下交渉中に候へば低價且つ支拂法好條件にて近々賣却開始致し候

御希望の方は實地御視察下され度御照會は左
記宛御願申上候
ノロエステ線、プロミツソン驛
私函卅一番

青木旅館内 草場武久
Caixa Postal, 31
Est. Promissão L. Noroeste

藥名遍照湯
子宮血の道、産前産後、疝氣、胃腸病、
リヨマチス、神經痛、癱痺、貧血、痔、
淋病、消渴、火傷、打傷、切傷、乳の痛
腫物一切（フェリダ）に特効あり
本舖 神戸市北長狹通四丁目島田大光堂
支店 支店：伯國……安宅興平

KINJÔ
ARGIA-DENTISTA

Afonso Penna, 37
Cidade 6267
S. PAULO

齒科醫
金城山戸

PRÉZIO DO C... N. Paulo

Y.
CIRQUE
Rue A
Tel.
A
電 聖市アホンソベンナ街三七番
話シダーデ六二六七番

武 金二十七ミル
號 レース
片 金二十七ミル
手 レース
付 ス

改良新式

フ
ラ
ン
タ

機製作所

ノロエステ線リンス驛郵函一五四

中村仁太郎

最上噴霧器
イタリヤ製ボルピー印
發賣元 LUIGI MELAI
代理店 瀬木商店

K. Y.
甲斐寫眞館

私依去月迄ビイラボンフイン驛街へ居住し各方面へ出張眞眞攝影致
し居り候處今般家事の都合に依り右記入の地へ移轉仕り從來の事業
を經營致し益々發展の各地方へ出張或は御招きに應じ精神誠意以て
事に當る可く候間倍舊の御愛顧給へん事を單に伏す本懇願候

大正十三年九月一日

各
位

敬具

謹啓各位益々御清祥奉慶賀候偕て私儀今般平田旅館を譲受け『九州旅館』と改名し總てに改良を加

へ親切に便宜を標語としてお客様方の御満足を買ふべく勉強致居候間何卒御引立の程伏して奉願上候 敬具

パウルー市

九州旅館 館主 加來晋一

同署の砌各位益々御多祥奉賀候陳は私事今般プロミツソン驛前に於
て旅館を開業、太陽旅館と命名し室内の設備完全且つ町寧に御
取扱い可申候間何卒御最良御引立の程伏して奉懇願候
尚ほ他地方より當地御觀察の御方々には懇切に御便宜御計り可申
候間是非御投宿ありん事を御願申上候

太陽旅館 館主 杉本 法雄
Caixa Postal, 9
Est. Promissio L. Norberto

